

第3号議案

2018年度青年部会方針(案)

もっと、もっと、大阪を元気に！！
～青年経営者の情熱、みせたるわい！～

基本方針

2018年度は、青年部会40周年ビジョン(2020年度)に向けた3年目の年であり、2017年度のチームS・N・B(以下、SNB)体制を基に、オール大阪でビジョン達成に向けた組織をつくります。

青年部会では、青年経営者が自主的に関わることで、同友会理念に共感する仲間と出会い、学び合い、磨かれ、進化するきっかけと勇気を貰えます。

今期の青年部会活動は【青年経営者と後継者が成長する場】を創ることに重点を置きます。

全ての事業活動が自社の経営に生きるよう、人を生かす経営の実践、会員同士が共に育つ環境と組織を創ります。

大阪の経済をリードする経営者集団を目指し、私たちが情熱をもって良い経営者、良い会社を目指しましょう。

青年部会が活性化すれば、必ず大阪経済も発展する。

もっと、もっと、大阪を元気に！

行動方針

- ①“同友会と社業は不離一体”を常に意識して、目的(何のために?)を明確にし行動します。
- ②青年経営者・後継者・幹部社員の育成に重点を置き、独自の活動を通じ、青年部会らしい魅力を創ります。
- ③活動の質を高め、人が集い繋がる場を創り、人と組織の魅力で増強し、期末会勢115名を目指します。

組織体制

①SNB体制のメリットである地域性(集まり易さ)と、オール大阪のメリット(地域を縦横断)を活かした組織を創ります。

②自社での経営活動と青年部会活動がより結び付きやすくなるよう、営業部(増強担当)、技術部(例会担当)、総務部(横の連携、広報、会計担当)の3つの運営部(以下、単に部)を創ります。

- ・全部員がいずれかの部に所属します。
- ・会社組織と構成を同じにすることで、青年部会で起きている現象を自社に置き換えて学べます。特に、社内で課題と感じている部に所属することで、自社を見直すきっかけになります。
- ・部会内での役割を自社と置き換えてイメージ出来るので、活動しやすくなります。
- ・運営部の所属は本人の希望とし、希望が無い場合は、幹事会で決定します。移動の必要がある場合も幹事会で決定します。

③SNBの枠組みは、近隣の会員が交流する場として本年度も維持します。所属は在籍する支部のあるチームとします。

組織図

役職	チームS	チームN	チームB	役割・責任
部会長				部会代表(理事)、同友会運動の発展、サミット議決
幹事長				部会活動統括、部会長補佐
副幹事長				部間の連携、幹事長補佐
営業部 リーダー				ヒトづくり・風土づくり、部内活動総括
サブリーダー				採用活動(人財を増やす)
交流 サブリーダー				風土づくり(組織を強める)
技術部 リーダー				経営者の質向上(学び)、部内活動総括
サブリーダー				報告から気付き学ぶ(質の向上)
サブリーダー				MG研修(数字に強くなる)、勉強会など
総務部 リーダー				全員一丸体制づくり、部内活動総括
会計 サブリーダー				活動予算の月次予実管理
広報 サブリーダー				月刊誌、web担当
直前部会長				相談役、アドバイザー、OBとの連携
会計監査				年度末に予算が適正に執行されたかどうか監査

* 全幹事共通

部会活動が部会方針・目標に沿っているか常に確認すること